

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) リッキョウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) セキ トモカズ
立教大学	経済学部	關 智一ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) プレイズ	フリガナ) タカギ エリコ	6 人	無	
B's	高木 絵梨子			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

WalkerS～快適なセカンドライフを目指して～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

近年、日本では高齢化社会が進行しており、パッシブシニアと呼ばれる要介護状態の高齢者も年々増加している。パッシブシニア層が増加すると、介護保険料の増加やヘルパー不足、高齢者自身が抱えるストレス負担など様々な問題がある。そこで私たちは、まだ介護を必要としていない層に目を向け、パッシブシニアの発生を未然に防ぐことで社会的、身体的ストレスのない快適なシニアライフを過ごしてもらえようという取り組みを行いたいと考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、パッシブシニア層が高齢者全体に対して 2 割程度おり、その割合は年々増加している。また、2000 年から 2016 年までの一人当たりの介護保険料負担額を比較すると 16 年間で約 2.5 倍に増加している。つまり、被介護者の増加に伴い介護保険料の増加もみられるため、ノンパッシブシニア層の要介護化を防ぐことが介護保険料の増大を防ぐために必要である、と考えられる。

パッシブシニアになってしまう要因は、第一位の認知症をはじめ、脳卒中、高齢による衰弱が挙げられ、5 割を占めている。対

策としては、脳卒中と高齢による衰弱には「有酸素運動」が、認知症にはさらに「脳への刺激」が必要となる。つまり、「有酸素運動」と「脳への刺激」を行うことで3つの要因すべてをカバーすることができ、パッシブシニア化を防ぐことができる、といえるのだ。

東京都健康長寿医療センターの宮前様によると、前途の2つの対策方法を兼ね備えたものとして「レジャーに出かけること」が効果的であると言われており、私たちはこの“レジャー”を通してパッシブシニア化を防止したいと考える。

しかし、そもそもレジャーに参加しないという高齢者も多く、高齢者センターである「千代田区かがやきプラザ」や JTB 総合研究所によると「お金がない」「計画が面倒」「同行者がいない」という問題がある。

また、現在ソーシャルウォーキングというパッシブシニア化防止を目的としたレジャーイベントが開催されているが、これは年2回の不定期開催であることや公園内という限定的な場所の散策にとどまることから、既存のレジャーイベントに参加したとしても問題点が考えられる。つまり、これらの問題を解決する新たなレジャー企画の必要性が感じられる。

3. 研究テーマの課題

上記の通り、そもそもレジャーへの関心のない層を引き込むことができていない要因や既存のレジャーイベントに関する問題点を考慮すると、①金銭的余裕がない②計画が面倒③同行者がいない④不定期開催⑤限られた場所 などといった問題点を踏襲した解決策が必要である。しかし現在そのような施策は存在しないため、新たなレジャーイベントの開催が効果的だと考える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の課題を解決するための施策として提案するのが、「WalkerS」である。

【概要】高齢者と学生と一緒に“おでかけ”をすることで、「有酸素運動」と「脳への刺激」を満たしパッシブシニア化を予防する

【利用ステップ】

① 申し込み

- I. WalkerS を利用することで認知症を予防したいと考えている高齢者が Web/電話/FAX を利用して申し込みをする。
その際に、趣味や好きな食べ物といった個人の嗜好に関する情報も添える。
- II. B's が高齢者の申し込みをもとに学生ボランティアを配置し、I で得た高齢者の情報を共有する。
同時に高齢者へは不安軽減のため、配置された学生の情報を共有する。
- III. 高齢者の情報を受け取った学生は若者の目線を取り入れたプランを考案する。

② お出かけ

集合場所にて高齢者と学生が合流。双方の追加要望・注意事項等がないかを確認し“おでかけ”を開始する。

③ ヒアリング

“おでかけ”の最後に道中で一緒に撮った写真などとともに思い出を振り返る。

【特徴】

① 低予算での“おでかけ”を実現

同行者としてボランティアを起用することでガイド料金が不要になる。また、事前に高齢者の予算をプランに反映することが可能なため高齢者の負担を最小限に抑えることができる。

② プラン作成の手間を省く

プランの考案をボランティアが引き受けることで、高齢者は手間をかけずに“おでかけ”に参加することができる。また、“おでかけ”の最中にもプランの変更に柔軟に対応することが可能であるため、満足度も高めることができる。

③ 一緒にお出かけができる

学生ボランティアが同行者として付き添うことで、高齢者の不安や寂しさを解消する。また、初対面の学生と“おでかけ”をするうえでの不安感の解消として、事前に相互の個人情報を送信することで対応する。

④ 各地での定期開催

WalkerS は月に2回のペースで定期的な開催をし、十分な開催頻度を実現する。

⑤ 様々な場所で“おでかけ”ができる

毎回異なるエリアで開催し、学生考案の流行などを取り入れたプランで“おでかけ”をすることで様々な場所に行くことができる。

以上から WalkerS は現在の認知症予防における課題を解決しており、高齢者のパッシブシニア化への対策として最も効果的

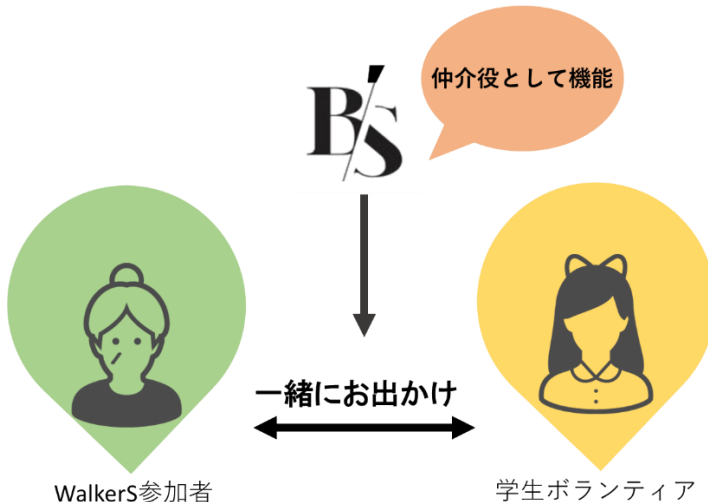
であると考えられる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

下図のような相関関係で WalkerS を運営し、B's は高齢者と学生とを結びつける仲介者の役割として機能する。

具体的には、仲介者として高齢者と学生ボランティアのマッチングを行ったのち、個人情報の管理共有や WalkerS 開催にあたっての参加者のケアを行う。

【図 1】



ボランティアの募集に関しては、学生ボランティア団体である ION 様、K to Y 様よりぜひ参加したいというお声をいただき、また、全学生を対象に「実際にこのようなボランティアがあったらやりたいか」というアンケートを行ったところ、178 人が「ぜひやってみたい」と回答したため、ボランティア募集が可能であると考えられる。

さらに、WalkerS があれば利用したいという高齢者も 84.9%おり、かがやきプラザや荒川山吹ふれあい館の好意的なお声も加味すると、このプランは十分実現可能であるといえる。

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとしては 1 年間の試行期間を設け、高齢者とのコミュニケーションを通じて開催頻度などの詳細を決定したのち完全実施に移行する。試行期間第 1 回目開催については、かがやきプラザの高齢者の方々をメインとし、若者の街であること、かがやきプラザからのアクセスが十分に良いことを考慮した渋谷駅周辺の開催を予定している。

7. 参考文献

JTB 総合研究所「シニアのライフスタイルと旅行に関する調査」

<https://www.tourism.jp/tourism-database/survey/2016/03/senior-lifestyle/>

総務省統計局「統計からみた我が国の高齢者（65 歳以上）－「敬老の日」にちなんで－」

<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi1030.html>

国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口・世帯数」

<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Mainmenu.asp>

こころみ「高齢者マーケティングのために知っておくべきだった 1 つのチャート」

<http://cocolomi.net/2016/08/03/001-8/>

アトラ 50「「ノンアクティブシニア」が考えていることは？ アクティブシニアとパッシブシニアの境界で」

<http://atora50.com/pickup/entry/1162/>

デイチャーム採用サイト

<https://dignitycharm.co.jp/recruiting/about/>

内閣府「平成 28 年版高齢社会白書（全体版）」

http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2016/zenbun/28pdf_index.html

経済産業省「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに対する研究会 報告書」

<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180409004/20180409004-2.pdf>

よくわかる脳梗塞の予防・治療 Navi「血液をサラサラにするには？脳梗塞の再発予防」

http://www.braininfarct-nav.com/relapse_prevention/aerobic_exercise.html

DIAMOND ONLINE「認知症予防は 40 代から！「脳の老化」薬の要らない防止法」

<https://diamond.jp/articles/-/118843>

東洋経済 ONLINE「実践！認知症を防ぐ超シンプルな 3 つの習慣 脳の健康を守れば認知症リスクは下げられる」

<https://toyokeizai.net/articles/-/219047>

京都保健会「認知症の予防法」

<http://www.kyoto-hokenkai.or.jp/topics/1702.htm>

脳梗塞予防を予防する食事と生活習慣「脳梗塞予防には有酸素運動」

<http://kenko.seagulldirect.info/noukousokuyobouseikatu/post-3/>

JA 東京健康管理センター「厚生連 健康通信 vol.10」

http://kouseiren.jatokyo.or.jp/kenkotusin10_01.pdf

長寿医療研究開発費 平成 27 年度 総括研究報告 コミュニケーションで認知症は予防できるのか：ビッグデータを活用した解析研究（27-18）

<http://www.ncgg.go.jp/ncgg-kenkyu/documents/27/27xx-18.pdf>

ライフリー ユニ・チャーム「ソーシャル・ウォーキングで認知症予防」

<http://www.unicharm.co.jp/lifree/dementia-prevention/index.html>

ハイムガーデン 仙台泉「第 2 回 脳を健康にする生活習慣『話・食・動・眠』〔その 1〕会話（コミュニケーション）の効用」

<https://www.tohoku-sekifu.jp/hgs/column/c02.html>

厚生労働省「介護納付金について」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gyoukaku/H27_review/H28_fall_open_review/siryo/2.pdf

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会（プレゼン局）にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください